

人 チーム 制度



夫婦で技術士・同じ部署内で勤務

～ 結婚後も子育てしながら

夫婦で同じ仕事を続けられる幸せ ～

今回ご紹介するのは中央復建コンサルタンツ(株)で、夫婦で同じ鉄道構造物設計の仕事に携わっている今村年成さん・りえさんです。2010年に同じ部署内でご結婚され、現在、5歳のお子さんを育てていらっしゃいます。

プロフィール

氏名 : 今村 年成 (45)
今村 りえ (40)
所属 : 中央復建コンサルタンツ(株)
鉄道系部門鉄道グループ
勤続年数 : 夫 20年、妻 16年
資格 : 夫婦とも技術士(建設)
居住地 : 大阪府内
家族構成 : 夫/妻/娘 (5)
※妻の父母と同居(二世帯住宅)
勤務状況 : 夫婦とも通常勤務

これまでの経歴を簡単に教えてください。

夫は、学生時代は土木工学専攻で、海底地盤の液化現象について学んでいました。入社当初からずっと鉄道構造物の設計を担当しています。

私(妻)も、学生時代は土木工学専攻で、鋼橋や合成桁について学んでいました。入社当初は、既設のコンクリート橋や鋼橋、トンネル等の点検・診断業務を担当しました。入社4年目に鉄道グループに異動し、現在は主に鉄道高架構造物の設計を担当しています。

2010年(夫は入社13年目、私は入社9年目)同じ鉄道グループに所属しているときに、結婚しました。通常、同じ部署内で結婚すると、どちらかが異動することが多いかと思いますが、**私たちは上司の計らいで同じ部署のまま、それぞれの仕事を続けられています。**結婚後1年ちょっとで娘を出産し、産休と1年2カ月の育休をいただいた後に、同じ部署に復帰しています。来年春には娘が小学生になります。

家族で家事・育児の分担はどうされていますか？

<妻目線> 基本的に、朝は夫が電動アシスト自転車で、娘を保育所へ送ってくれます。お迎えは、週に3日は私が行きますが、週に2日は同居している祖父母(私の実父母)に代わりに行ってもらっています。その2日は、私は会社で溜まっている仕事を片付けたり、社内外の懇親会に出席したりしています。1年前に二世帯住宅に移ってから、祖父母に娘の面倒を見てもらいやすくなりました。

家事は明確に分担しているわけではありませんが、お互いの得意分野や疲れ具合で臨機応変に対応しています。夫は、洗濯物をたたんだり、掃除機をかけたり、私が疲れ切っている週末には晩ご飯を作ってくれたりもするので、助かっています。

<夫目線> 娘とは仲が良いので、朝の自転車などの二人っきりのときに、妻には聞かれたくないことを娘とおしゃべりして、ガス抜きしています。



同じ部署で働くことのメリットは？

<妻目線> 夫が私の仕事を理解し、応援してくれることが一番のメリットです。部署が同じなので、仕事でツライときも、**逐一説明しなくても、リアルタイムで分かってくれます。**また、夫婦それぞれの仕事上での知り合いをお互いに紹介しているので、社内外の懇親会に快く送り出してくれるのも、私にとっては大きなメリットです。

<夫目線> 仕事と家庭内の日程調整がその場ですぐに行えることが一番のメリットです。どうしても夫婦の出張が重なる場合には、祖父母に助っ人要請をしたりして、調整しています。

大阪の部署にはチームが2つあり、私はそのうち1つのチームリーダーをしています。妻はもう一方のチームにいるため、**妻と話すことで部署全体の仕事状況もある程度把握できる**こともメリットの1つです。最近、チーム間での仕事の割り振りなどの判断を誤ることが少なくなってきたと感じています。

最後に、一緒に働く皆さんに伝えておきたいことは？

<妻目線> 公私のけじめをつけやすいように、夫婦で同じ業務を担当しないよう割り振りを調整していただいています。また、普段から私たちの見えないところで、周りの皆様にはご配慮いただいていることも多いかと思います。結婚後も子育てしながら、**同じ部署で同じ仕事を続けられるのは、皆様のおかげです。**このありがたい環境に感謝しながら、がんばっていきたいと思います。

<夫目線> 独身の頃は、自分のペースで好き勝手に働いていました。結婚し、子育てを始めてから、仕事より**子どもの体調を優先させないといけない局面が多々あることを、身をもって知りました。**独身時代の私と一緒に働いて下さった皆様、当時はその大変さを十分に理解できておらず、本当にすみませんでした。これからは、子育ての大変さを実感している者として、共働きや子育て世代に入る後輩の応援もしながら、皆で働いていきたいと思っています。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。